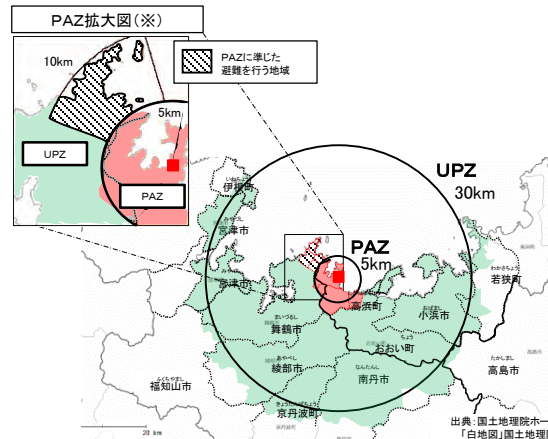


1. 高浜地域の原子力災害対策重点区域

- 高浜地域における原子力災害対策重点区域(概ね半径30kmの範囲)の人口は**172,226人**(平成29年4月現在)。
- PAZ(PAZに準じた避難を行う地域を含む。)内の人口は高浜町(福井県)7,811人、舞鶴市(京都府)578人。
- UPZ内の人口は福井県及び京都府の関係11市町**163,837人**。



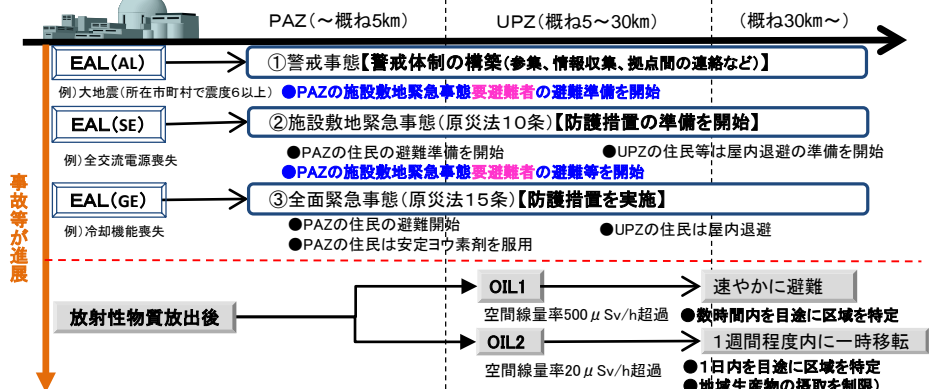
関係府県	PAZ内 (PAZに準じた避難を行う地域を含む)	UPZ内 (概ね5~30km)	合計
	(概ね5km)	(概ね5~30km)	
福井県	7,811人	44,614人	52,425人
京都府	578人	119,223人	119,801人
滋賀県	-	-	0人
合計	8,389人	163,837人	172,226人

【UPZ内市町】
福井県 高浜町、おおい町、小浜市、若狭町
京都府 舞鶴市、綾部市、南丹市、京丹波町、福知山市、宮津市、伊根町、滋賀県 高島市

出典: 国土地理院ホームページ(<http://maps.gsi.go.jp/#/35/795538/136.051944>)
「白地図」国土地理院(<http://maps.gsi.go.jp/#/35/795538/136.051941>)をもとに内閣府(原子力防災)作成

2. 原子力災害対策指針における緊急事態の防護措置の考え方

- 緊急事態の初期段階は原子力施設の**状況**等の進捗で、放射性物質放出後は緊急時モニタリングの結果に基づいて防護措置を実施。
- (1) EAL(Emergency Action Level)による**初期対応段階における防護措置**
原子力施設の**状況**等に基づく緊急事態区分を導入し、その区分を判断する基準(EAL)を設定EALに基づき、**施設敷地緊急事態要避難者は早期の避難等の防護措置を実施**。
※PAZの施設敷地緊急事態要避難者の避難は、**通常以上の時間がかかるため、EAL(SE)の段階から避難を開始する**。
ただし、避難により健康リスクが高まるおそれのある者は、速い効果の高い建物等に屋内退避する。
- (2) 緊急時モニタリングの実施/OIL(Operational Intervention Level)に基づく判断
国はEAL(SE)の段階で緊急時モニタリングセンターを立ち上げる。放射性物質放出後、モニタリング結果と防護措置の実施基準(OIL)に基づき、UPZ内の住民の防護措置を判断する。



3. PAZ及びUPZの関係府県における広域避難先

- PAZ内、UPZ内の各市町の住民の避難先は、府県内外で複数確保。
- 府県を越える避難が必要な場合、避難元府県からの受入れ要請に基づき、避難計画で示された兵庫県及び徳島県の避難先で受入れを行う。
- 福井県は県内避難を基本とする。京都府は避難先の準備状況、避難先までの道路状況の他、気象庁から提供される気象情報などを考慮して避難先を決定する。

